

(粉末分散剤)

# テルフローMX 使用説明書

地下連続壁工法や杭工法において、現在安定液は、欠くことのできないものとなっています。工事を安全かつ経済的に行うためには、地質条件や施工条件に適した安定液の計画と、日常の安定液管理が最も大切です。

しかし、計画に基づき調整された安定液も、工事の進行にともない掘削土粒子、セメント、塩水等によって汚染され、粘性、ゲルストレングス、ろ水量が増加し、分散性が低下してきます。

テルフローMXは、ポリカルボン酸塩を主成分としたもので、劣化防止と再生効果の高い粉末タイプの分散剤として開発されたものです。

特にセメントにより劣化した安定液に対しては、優れた効果を発揮し、安定液の粘性、ゲルストレングスおよびろ水量を大幅に低減できる分散剤です。

## 1 テルフローMXの特徴

- 1) 粘性、ゲルストレングスおよびろ水量を低減します。
- 2) 海水安定液に対しても優れた分散効果があります。
- 3) セメント系改良地盤の掘削や生コン打設時に、セメントにより劣化した安定液に対して大きな分散効果が得られます。
- 4) 地層およびセメント中から溶出したCaイオンを不活性化する効果があります。
- 5) 掘削土砂の分離、除去を良くします。
- 6) 一般的なミキサーで簡単に溶解できるため、大量の安定液に対しても短時間で添加することができます。

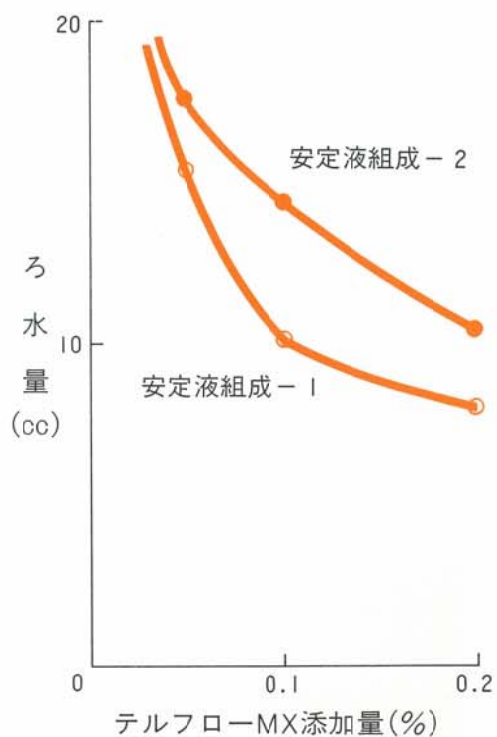
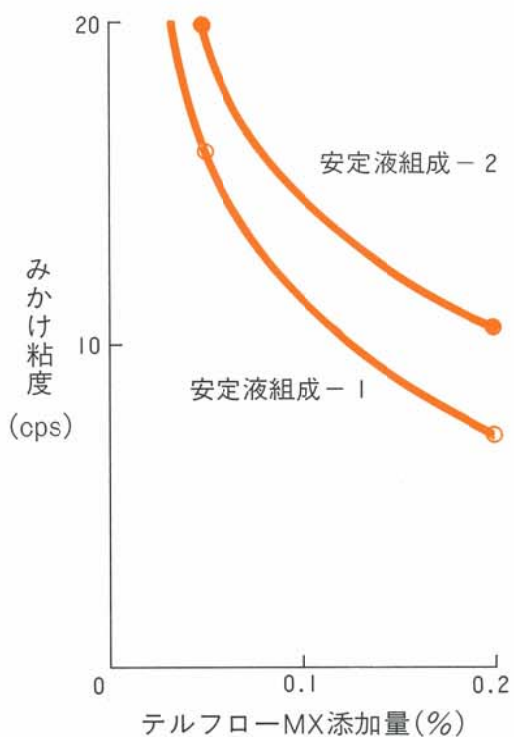
## 2 テルフローMXの使用方法

- 1) 安定液の新練り時に、予め0.1~0.2%添加しておきますと効果的です。  
添加方法は他の安定液材料と同じです。
- 2) セメントなどにより劣化した安定液を再生する場合は、劣化安定液をミキサーに戻し、テルフローMXを0.1~0.3%添加して下さい。また、ピット内の劣化安定液を再生する場合は、テルフローMXの高濃度溶液をミキサーに調整したあと放流し、水中ポンプなどで攪拌して下さい。
- 3) 劣化した安定液のろ水量をさらに低減したい場合は、テルポリマー類を併用すると効果的です。

### 3 テルフローMXの効果

#### 試験例

	安定液組成-1	安定液組成-2
清 水	100部	100部
ベ ン ト ナ イ ト	2%	2%
テ ル ポ リ マ ー 30	0.4%	0.4%
微 粒 粘 土	—	20%
セ メ ン ト	2%	2%



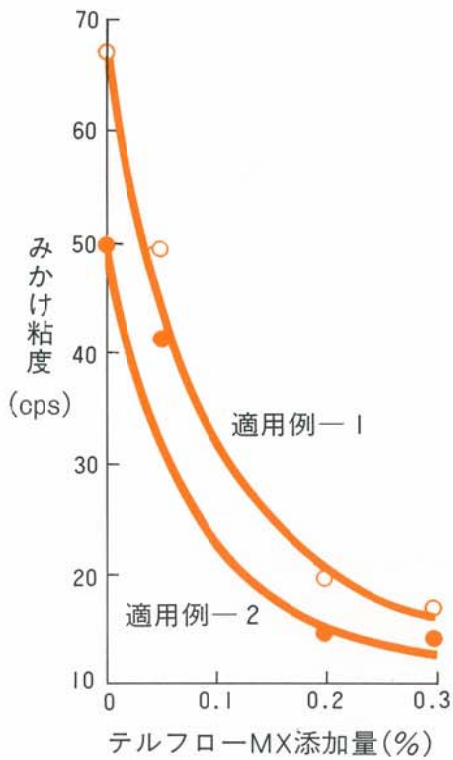
## 4 現場安定液への適用例

### 適用例—1

工事場所：東京都

工 法：循環工法

地 層：シルト、細砂、泥岩層

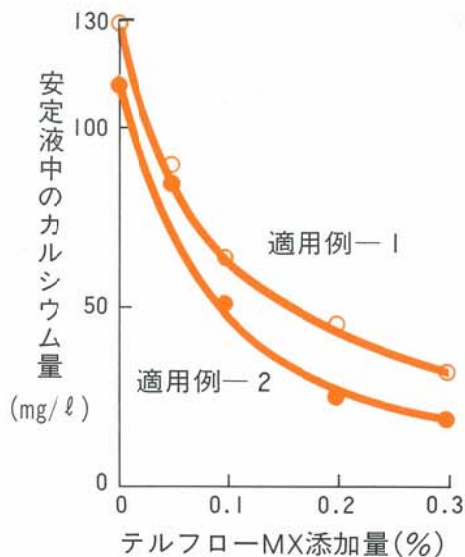
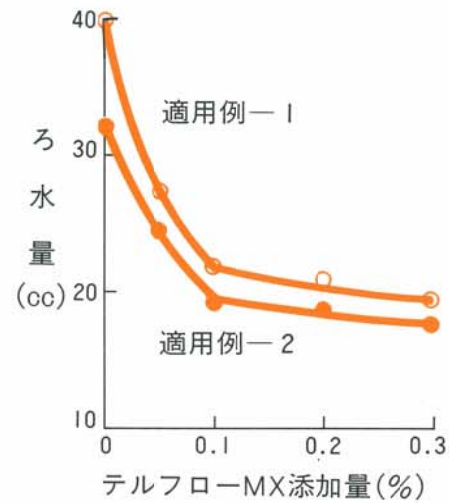


### 適用例—2

工事場所：東京都

工 法：循環工法

地 層：細砂、シルト層



## 5 テルフローMXの性状

### 一般性状

外 観	白色粉末
真 比 重	1.95～ 2.05
p H (1%水溶液)	9.5～10.5

## 6 テルフローMXの荷姿

クラフト袋入

1袋 20kg入



# 株式会社テルナイト

---

本社

---

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-3

Daiwa 神保町 3 丁目ビル 5 階

営業部 TEL 03(5843)0009 FAX 03(3221)5061

---

西日本営業所

---

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 2 丁目 13 番 1 号

サンパレス新大阪

TEL 06(6397)5249 FAX 06(6397)9681

---

代理店